

2016年度 国際理解学科「基礎ゼミナール」 ミニシラバス

| | |
|----------|---|
| 担当者名 | 生 田 祐 子 |
| 基礎ゼミのテーマ | Learning to Live Together -英語で学ぶ国際理解- 英語力は、言語の知識+WTC(=Willingness to Communicate)+使用頻度(機会)が鍵です。このゼミでは、国連や国際理解に関する諸問題を題材に学習スキルを学び、同時に英語の発信力を高める色々な仕掛けを用意しています。英語を使いながら平和や多民族共存について考えてみませんか。 |
| サブテキストなど | 教材は教室で指示します。 |
| お勧め対象 | 模擬国連やディベートに関心のある学生。 グローバルな視点からの英語教育に関心のある学生。 長期留学を準備したい学生。英語が何よりも大好きな学生! |

| | |
|----------|---|
| 担当者名 | 金 井 恵 里 可 |
| 基礎ゼミのテーマ | 新聞を読む 社会を知る —新聞記事を持ち寄ってグループディスカッション・グループ発表・ディベートを行うことにより、社会を見る目を養う— |
| サブテキストなど | 日刊新聞各紙(スポーツ紙は除く) インターネット版のプリントアウトでもよいが、検索機能によって記事を選んではいけません |
| お勧め対象 | 世界と日本で起こっていることを幅広く知りたい学生。新聞を毎日読まなければならないと思っているが一人ではなかなか続かない学生。社会の動きについて、クラスで論じ合いたいと思っている学生。 |

| | |
|----------|--|
| 担当者名 | 北 野 マ グ ダ |
| 基礎ゼミのテーマ | This seminar will discuss ways to improve English skills. The most important ingredient for mastering English is to <u>spend time</u> either using or studying English. Students will be expected to try each of the methods on their own time, and report on the effectiveness and their impressions. |
| サブテキストなど | Will be announced in class. |
| お勧め対象 | Students who seriously wish to improve their English skills, and are willing to spend time to do so. |

| | |
|----------|---|
| 担当者名 | 齊 藤 功 高 |
| 基礎ゼミのテーマ | 世界の中の日本、日本の中の世界 —世界の現状と日本の立ち位置を学び、日本の中の国際化を調査し、それらに関するディベートを通して、今後の日本と自分の方向性を検討する— |
| サブテキストなど | 新聞、雑誌、資料、ネットなどのデータを通して学習します。その他授業で使うテキストが出てくれば、その都度指示します。 |
| お勧め対象 | 国際協力分野の学生でグローバリゼーションの中の日本の針路に関心のある学生 |

| | |
|----------|--|
| 担当者名 | 千葉克裕 |
| 基礎ゼミのテーマ | 外国語習得研究について基礎知識を得る。 新書や論文を講読しながら、言語習得についての基礎知識を得ると共に、文献レポートやその発表の仕方を学びます。 |
| サブテキストなど | 「外国語学習の科学－第二言語習得論とは何か」白井恭弘著 岩波新書 700円（税別） |
| お勧め対象 | 言語習得や英語教育に関心を持っている学生にお勧めです。（本を読むことが好きな学生） |

| | |
|----------|---|
| 担当者名 | 丸山鋼二 |
| 基礎ゼミのテーマ | 「世界の動きと現代社会を理解し自分のテーマを見つける。」 世界情勢など現在のトピックスや、現代世界を理解するために必要な現代史の知識等を、『世界地図』を見ながら勉強します。 |
| サブテキストなど | 新聞・雑誌・ネット。各自に指示する図書、共通テキスト『今がわかる、時代がわかる世界地図2016年版』成美堂出版、1,600円。 |
| お勧め対象 | 1)世界の動き、歴史や文化に関心のある学生、2)地図を見るのが好きな学生、3)考えることや行動力がほしいと思っている学生 |

| | |
|----------|--|
| 担当者名 | 本浜秀彦 |
| 基礎ゼミのテーマ | 「日本」のすがたかたちとニッポンの表現力 —日本の多様な文化を理解するとともに、歌舞伎からマンガまで、ポップな感性あふれる日本的表現の魅力を探る— |
| サブテキストなど | 教場で指示します。 |
| お勧め対象 | 1)日本の文化や社会、歴史に関心を持つ学生、2)文学、映画、絵画、演劇などに関心のある学生、3)「日本」を英語で発信したい学生、他。 |

| | |
|----------|--|
| 担当者名 | 山崎裕子 |
| 基礎ゼミのテーマ | 「哲学すること」を通して、「考える力」を培う —すぐに役立つことだけではなく、どの時代やどの社会にも適応できる力をつける— |
| サブテキストなど | 谷川徹三『哲学案内』講談社学術文庫157（プリント配布） 「ソクラテスとプラトン」「ものを考えるとはどういうことか」「哲学と科学」などを取り上げる。ゼミ生が輪番で発表。一週間のニュースの報告も、毎週してもらいます。 |
| お勧め対象 | 本を読むことと考えることが好きな人。よく生きるために、木の葉っぱではなく、幹と根の部分を知りたい人。 |

| | |
|----------|--|
| 担当者名 | 渡邊暁子 |
| 基礎ゼミのテーマ | モノから考えるわたしたちの世界 —国家という大きな枠組みではなく、人と人とのつながりのあり方、モノと人との関係、およびその歴史について、文献調査やフィールドワーク、グループ発表、ディスカッションを通して理解します— |
| サブテキストなど | 今年度の題材はお茶です。したがって、お茶に関係する文献、映像資料を用います。 |
| お勧め対象 | 「歩く・みる・きく」が好きで、異文化理解、文化交流、国際協力等に関心を持つ学生。 ※10月22日（土）には、足柄茶の茶業センターでフィールドワークを実施する予定です。 |